

# ＜奇数月定額払出型＞ ダイワ先進国リートα

為替ヘッジあり  
為替ヘッジなし

## 運用報告書（全体版）

第 28 期（決算日 2019年11月13日）

第 29 期（決算日 2020年 1月14日）

満期償還（償還日 2020年 3月13日）

（作成対象期間 2019年9月14日～2020年3月13日）

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約4年11カ月間（2015年4月7日～2020年3月13日）	
運用方針	リートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざすとともに、払出水準に基づいて、投資者に対し奇数月に資金の払出しを行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））」の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ、ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II－グローバル・リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））」の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、1万口当たり150円の払出水準に基づき、これを上限として払出額を決定します。ただし、当ファンドが繰上償還することが決定した場合は、決定以後払出しを行ないません。また、分配対象額が少額の場合には、払出しを行わないことがあります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざすとともに、払出水準に基づいて、投資者に対し奇数月に資金（分配金）の払出しを行なうことを目的としており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5677>

<5678>

為替ヘッジあり

最近15期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期末(2017年11月13日)	7,685	150	0.6	10,918	1.2	—	98.4	44
17期末(2018年1月15日)	7,327	150	△2.7	10,615	△2.8	—	98.4	40
18期末(2018年3月13日)	6,970	150	△2.8	10,298	△3.0	—	98.3	38
19期末(2018年5月14日)	7,001	150	2.6	10,812	5.0	—	98.1	38
20期末(2018年7月13日)	6,925	150	1.1	11,336	4.9	—	98.4	37
21期末(2018年9月13日)	6,778	150	0.0	11,457	1.1	—	98.4	37
22期末(2018年11月13日)	6,552	150	△1.1	11,290	△1.5	—	98.3	35
23期末(2019年1月15日)	6,356	150	△0.7	11,086	△1.8	—	98.3	34
24期末(2019年3月13日)	6,417	150	3.3	12,012	8.4	0.0	98.4	34
25期末(2019年5月13日)	6,313	150	0.7	12,239	1.9	—	98.3	34
26期末(2019年7月16日)	6,292	150	2.0	12,694	3.7	—	98.3	34
27期末(2019年9月13日)	6,203	150	1.0	13,040	2.7	—	98.4	32
28期末(2019年11月13日)	5,963	150	△1.5	13,057	0.1	—	98.2	30
29期末(2020年1月14日)	5,838	150	0.4	13,354	2.3	—	98.3	30
償還(2020年3月13日)	6,003.06	—	2.8	10,505	△21.3	—	—	31

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

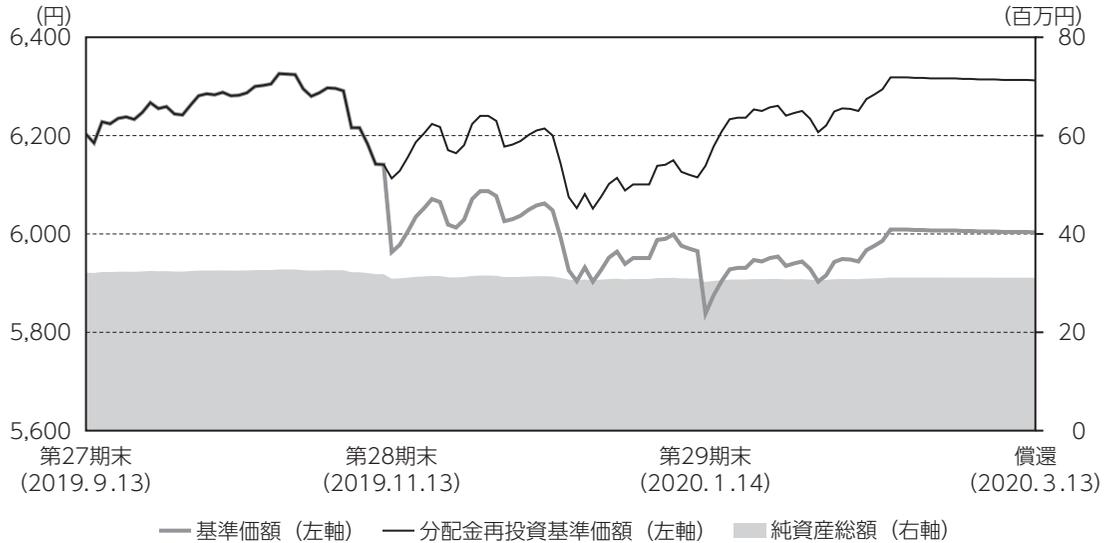
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円  
 償還時：6,003円06銭（既払分配金4,350円）  
 騰落率：7.0%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主にリートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））に投資した結果、リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））については、先進国のリートへの投資とオプ

ション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことが寄与し、上昇しました。一方、オプション取引はマイナス要因となりました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））

<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第28期	(期首) 2019年 9月13日	円 6,203	% -	13,040	% -	% -	% 98.4
	9月末	6,255	0.8	13,286	1.9	-	98.5
	10月末	6,297	1.5	13,558	4.0	-	98.6
	(期末) 2019年11月13日	6,113	△1.5	13,057	0.1	-	98.2
第29期	(期首) 2019年11月13日	5,963	-	13,057	-	-	98.2
	11月末	6,087	2.1	13,473	3.2	-	98.3
	12月末	5,988	0.4	13,246	1.4	-	95.0
	(期末) 2020年 1月14日	5,988	0.4	13,354	2.3	-	98.3
償還期	(期首) 2020年 1月14日	5,838	-	13,354	-	-	98.3
	1月末	5,929	1.6	13,611	1.9	-	98.4
	2月末	6,007	2.9	12,852	△ 3.8	-	-
	(償還) 2020年 3月13日	6,003.06	2.8	10,505	△21.3	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 設定以来の投資環境について

(2015.4.7～2020.3.13)

### ■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

先進国リート市況は、当ファンド設定時から2016年初頭までは方向感のない動きとなりましたが、年の前半から半ばにかけては、各国中央銀行が低金利政策を維持したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。2016年後半は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げ観測が高まったことなどからいったんは下落しましたが、2017年に入ると、株式市況が上昇基調で推移したことを受けて、リート市況も上昇しました。2018年に入ると、米国長期金利が上昇したことでリート市況は下落しましたが、その後は、米国主要リーートの好調な業績見通しや長期金利がおおむね安定的に推移したことなどを背景に、上昇しました。2018年末にかけては、米中貿易摩擦問題に加えて、F R Bの利上げ継続姿勢に対する投資家心理の悪化などを背景に、下落しました。2019年に入ると、米国の金融引き締めに対する慎重な姿勢が好感されたことなどを背景に、おおむね堅調な推移となりましたが、年末にかけては、長期金利が上昇したことなどから下落しました。2020年に入ると、米中通商協議における第1段階合意などを受けてリート市況は再び上昇しましたが、その後当ファンドが安定運用に移行した2月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に影響を及ぼすとの懸念から、上値が重い展開となりました。国・地域別では香港やオーストラリア、カナダなどが好調だった一方で、オランダやフランスなどが低調でした。セクター別では、産業施設や特殊用途施設、住宅などが好調だった一方で、商業施設やホテル／リゾートなどが低調でした。

### ■短期金利市況

日本では、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入するなど、短期金利は低位で推移しました。一方、F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標を当ファンド設定時より引き上げてきました。しかし2019年に入り、米中貿易摩擦や世界経済の減速で不透明感が強まる中、景気が悪化するリスクを警戒し金融緩和に踏み切り、政策金利の誘導目標を引き下げました。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））への投資割合を高位に維持します。

### ■リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築します。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション（買う権利）を売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2015.4.7～2020.3.13)

### ■当ファンド

リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））への投資割合を高位に維持しました。

### ■リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。

現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをおおむねオーバーウエート、商業施設などをおおむねアンダーウエートとしました。国別で見ると、米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで、日本や英国、オランダなどをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション（買う権利）を売却することでカバードコール戦略を構築しました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

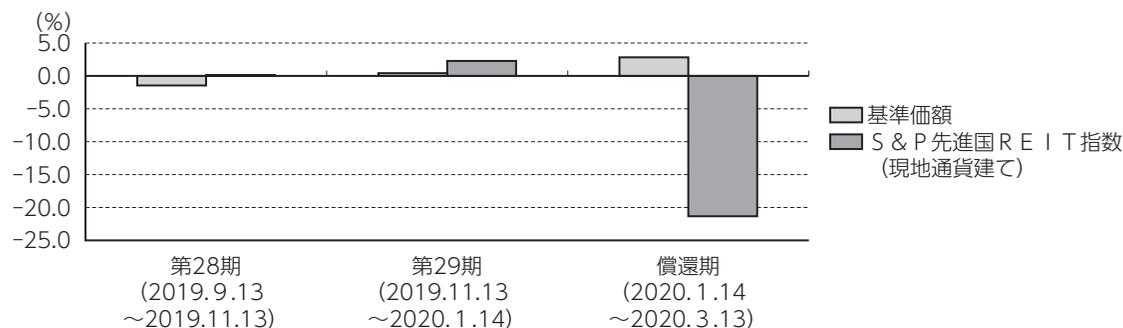
### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれません。



## 分配金（払出金）について

1万口当り、第1期～第29期各150円の収益分配を行いました。

また、第28期および第29期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきました。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第28期		第29期	
	2019年9月14日 ～2019年11月13日		2019年11月14日 ～2020年1月14日	
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)	<b>150</b>		<b>150</b>	
対基準価額比率 (%)	2.45		2.51	
当期の収益 (円)	150		150	
当期の収益以外 (円)	—		—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,048		1,087	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 188.41円	✓ 189.59円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	66.01	66.01
(d) 分配準備積立金	943.69	982.10
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,198.12	1,237.72
(f) 分配金	150.00	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,048.12	1,087.72

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第28期～償還期 (2019.9.14～2020.3.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	41円	0.671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は6,073円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	41	0.671	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

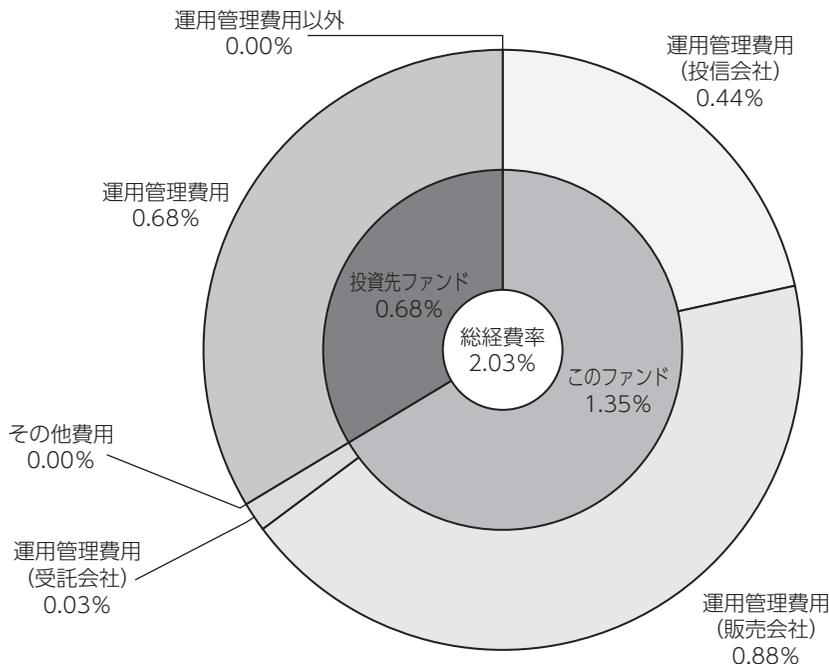
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



総経費率 (①+②+③)	2.03%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
 (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年9月14日から2020年3月13日まで)

決算期	第 28 期 ~ 償還期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	40.62515	2,102	623.50243	32,371

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月14日から2020年3月13日まで)

決算期	第 28 期 ~ 償還期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	-	-	49	49

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年9月14日から2020年3月13日まで)

第 28 期 ~ 償還期				第 28 期 ~ 償還期			
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND FIXED DISTRIBUTION JPY HEDGED (ケイマン諸島)	623.50243	32,371	51

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	償還時保有額	取引の理由
百万円 50	百万円 -	百万円 -	百万円 50	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。  
 (注2) 単位未満切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	第 27 期 末
	□ 数
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 49

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月13日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 31,171	% 100.0
投資信託財産総額	31,171	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年11月13日)、(2020年1月14日)、(2020年3月13日)現在

項 目	第 28 期 末	第 29 期 末	償 還 時
(A) 資産	31,750,357円	31,104,433円	31,171,847円
コール・ローン等	1,352,993	1,300,471	31,171,847
投資信託受益証券(評価額)	30,347,484	29,754,087	—
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	49,880	49,875	—
(B) 負債	850,089	848,538	68,787
未払収益分配金	777,330	777,330	—
未払信託報酬	72,755	71,208	68,556
未払利息	—	—	231
その他未払費用	4	—	—
(C) 純資産総額(A - B)	30,900,268	30,255,895	31,103,060
元本	51,822,024	51,822,024	51,812,024
次期繰越損益金	△20,921,756	△21,566,129	—
償還差損益金	—	—	△20,708,964
(D) 受益権総口数	51,822,024口	51,822,024口	51,812,024口
1万口当り基準価額(C/D)	5,963円	5,838円	—
1万口当り償還価額(C/D)	—	—	6,003円06銭

\* 第27期末における元本額は51,822,024円、当作成期間(第28期～償還期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は10,000円です。

\* 償還時の計算口数当りの純資産額は6,003円06銭です。

\* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は20,708,964円です。

■損益の状況

第28期 自2019年9月14日 至2019年11月13日  
 第29期 自2019年11月14日 至2020年1月14日  
 償還期 自2020年1月15日 至2020年3月13日

項 目	第 28 期	第 29 期	償 還 期
(A) 配当等収益	1,049,156円	1,053,723円	△ 1,030円
受取配当金	1,049,179	1,053,752	—
支払利息	△ 23	△ 29	△ 1,030
(B) 有価証券売買損益	△ 1,442,406	△ 849,557	922,590
売買益	1	1	922,678
売買損	△ 1,442,407	△ 849,558	△ 88
(C) 信託報酬等	△ 72,759	△ 71,209	△ 68,556
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 466,009	132,957	853,004
(E) 前期繰越損益金	△18,925,728	△20,169,067	△20,809,424
(F) 追加信託差損益金	△ 752,689	△ 752,689	△ 752,544
(配当等相当額)	( 342,128)	( 342,128)	( 342,062)
(売買損益相当額)	(△ 1,094,817)	(△ 1,094,817)	(△ 1,094,606)
(G) 合計(D + E + F)	△20,144,426	△20,788,799	△20,708,964
(H) 収益分配金	△ 777,330	△ 777,330	—
次期繰越損益金(G + H)	△20,921,756	△21,566,129	—
追加信託差損益金	△ 752,689	△ 752,689	—
(配当等相当額)	( 342,128)	( 342,128)	( —)
(売買損益相当額)	(△ 1,094,817)	(△ 1,094,817)	( —)
分配準備積立金	5,089,492	5,294,676	—
繰越損益金	△25,258,559	△26,108,116	—
償還差損益金(G)	—	—	△20,708,964

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	976,397円	982,514円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	342,128	342,128
(d) 分配準備積立金	4,890,425	5,089,492
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	6,208,950	6,414,134
(f) 分配金	777,330	777,330
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	5,431,620	5,636,804
(h) 受益権総口数	51,822,024□	51,822,024□

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2015年4月7日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年3月13日		資産総額	31,171,847円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	68,787円
				純資産総額	31,103,060円
受益権口数	50,000,000□	51,812,024□	1,812,024□	受益権口数	51,812,024□
元本額	50,000,000円	51,812,024円	1,812,024円	1単位当り償還金	6,003円06銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	50,010,128	46,946,241	9,387	150	1.50
第2期	51,316,287	46,802,972	9,120	150	1.50
第3期	51,316,287	44,429,257	8,658	150	1.50
第4期	51,321,754	45,362,541	8,839	150	1.50
第5期	51,321,754	44,822,407	8,734	150	1.50
第6期	51,321,754	45,576,566	8,881	150	1.50
第7期	51,857,672	46,488,882	8,965	150	1.50
第8期	51,857,672	46,831,007	9,031	150	1.50
第9期	54,922,135	47,689,558	8,683	150	1.50
第10期	57,195,259	45,127,135	7,890	150	1.50
第11期	57,195,259	46,709,289	8,167	150	1.50
第12期	57,195,259	45,525,413	7,960	150	1.50
第13期	57,195,259	45,480,225	7,952	150	1.50
第14期	57,195,259	44,288,344	7,743	150	1.50
第15期	57,689,453	44,920,392	7,787	150	1.50
第16期	57,689,453	44,332,526	7,685	150	1.50

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1 単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第17期	54,631,573	40,029,712	7,327	150	1.50
第18期	54,624,990	38,074,955	6,970	150	1.50
第19期	54,624,990	38,243,053	7,001	150	1.50
第20期	54,619,523	37,825,141	6,925	150	1.50
第21期	54,619,523	37,023,317	6,778	150	1.50
第22期	54,619,523	35,787,813	6,552	150	1.50
第23期	54,619,523	34,713,918	6,356	150	1.50
第24期	54,083,605	34,702,878	6,417	150	1.50
第25期	54,085,148	34,143,079	6,313	150	1.50
第26期	54,085,148	34,029,660	6,292	150	1.50
第27期	51,822,024	32,143,607	6,203	150	1.50
第28期	51,822,024	30,900,268	5,963	150	1.50
第29期	51,822,024	30,255,895	5,838	150	1.50

(注) 1 単位は受益権 1 万口。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 28 期	第 29 期
1 万 口 当 り 分 配 金	150円	150円

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	6,003円06銭

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし

最近15期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (円建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
16期末(2017年11月13日)	円 7,549	円 150	% 3.1	10,410	% 3.4	% -	% 98.3	百万円 54
17期末(2018年1月15日)	7,186	150	△2.8	10,036	△3.6	-	98.7	52
18期末(2018年3月13日)	6,589	150	△6.2	9,366	△6.7	-	98.3	46
19期末(2018年5月14日)	6,750	150	4.7	9,997	6.7	-	98.3	48
20期末(2018年7月13日)	6,823	150	3.3	10,692	7.0	-	98.3	48
21期末(2018年9月13日)	6,610	150	△0.9	10,665	△0.3	-	98.2	43
22期末(2018年11月13日)	6,532	150	1.1	10,698	0.3	-	98.6	42
23期末(2019年1月15日)	6,110	150	△4.2	10,069	△5.9	-	98.2	39
24期末(2019年3月13日)	6,323	150	5.9	11,171	10.9	0.0	98.4	40
25期末(2019年5月13日)	6,150	150	△0.4	11,200	0.3	-	98.4	36
26期末(2019年7月16日)	6,081	150	1.3	11,452	2.2	-	98.2	35
27期末(2019年9月13日)	5,988	150	0.9	11,706	2.2	-	98.3	35
28期末(2019年11月13日)	5,836	150	△0.0	11,863	1.3	-	98.2	34
29期末(2020年1月14日)	5,764	150	1.3	12,243	3.2	-	98.3	33
償還(2020年3月13日)	5,918.13	-	2.7	9,196	△24.9	-	-	31

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S&P先進国REIT指数(円建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S&P先進国REIT指数(円建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

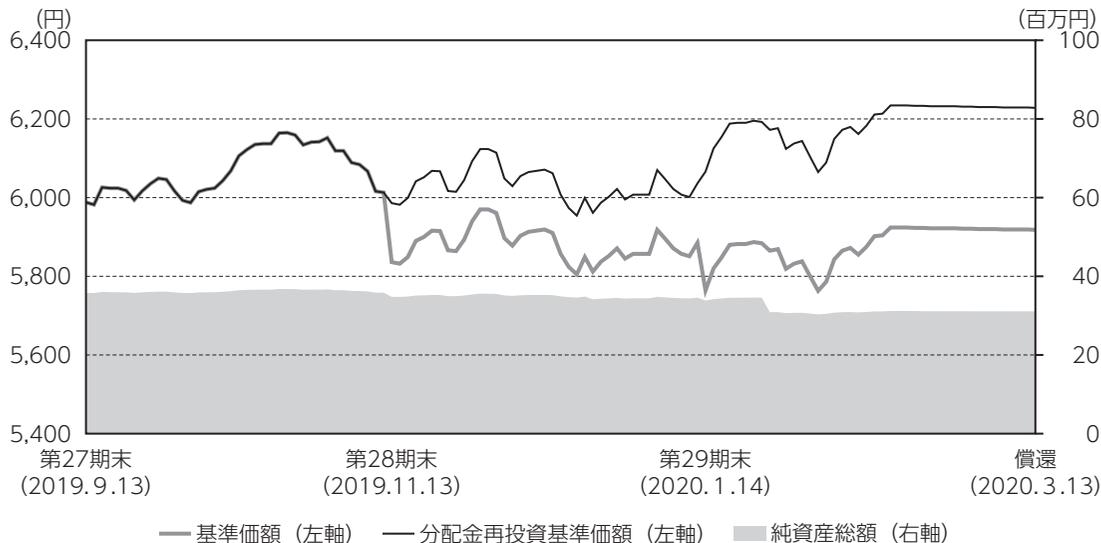
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：5,918円13銭（既払分配金4,350円）

騰落率：7.5%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主にリートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））に投資した結果、リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））については、先進国のリートへの投資と

オプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、原資産通貨が対円で下落したことはマイナス要因となりましたが、先進国リートが上昇したことが寄与し、上昇しました。一方、オプション取引はマイナス要因となりました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ グローバル・リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））

<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (円 建 指数 (参考指数) 騰 落 率		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	(参考指数)	騰 落 率		
第28期	(期首) 2019年 9 月13日	5,988	—	11,706	—	—	98.3
	9 月末	6,049	1.0	11,935	2.0	—	98.5
	10月末	6,152	2.7	12,303	5.1	—	98.8
	(期末) 2019年11月13日	5,986	△0.0	11,863	1.3	—	98.2
第29期	(期首) 2019年11月13日	5,836	—	11,863	—	—	98.2
	11月末	5,970	2.3	12,273	3.5	—	98.3
	12月末	5,918	1.4	12,122	2.2	—	95.1
	(期末) 2020年 1 月14日	5,914	1.3	12,243	3.2	—	98.3
償還期	(期首) 2020年 1 月14日	5,764	—	12,243	—	—	98.3
	1 月末	5,800	0.6	12,319	0.6	—	98.5
	2 月末	5,922	2.7	11,720	△ 4.3	—	—
	(償還) 2020年 3 月13日	5,918.13	2.7	9,196	△24.9	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 設定以来の投資環境について

(2015.4.7～2020.3.13)

### ■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

先進国リート市況は、当ファンド設定時から2016年の初頭までは方向感のない動きとなりましたが、年前半から半ばにかけては、各国中央銀行が低金利政策を維持したことなどを背景に、上昇基調で推移しました。2016年後半は、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げ観測が高まったことなどからいったんは下落しましたが、2017年に入ると、株式市況が上昇基調で推移したことを受けて、リート市況も上昇しました。2018年に入ると、米国長期金利が上昇したことでリート市況は下落しましたが、その後は、米国主要リーートの好調な業績見通しや長期金利がおおむね安定的に推移したことなどを背景に、上昇しました。2018年末にかけては、米中貿易摩擦問題に加えて、F R Bの利上げ継続姿勢に対する投資家心理の悪化などを背景に、下落しました。2019年に入ると、米国の金融引き締めに対する慎重な姿勢が好感されたことなどを背景に、おおむね堅調な推移となりましたが、年末にかけては、長期金利が上昇したことなどから下落しました。2020年に入ると、米中通商協議における第1段階合意などを受けてリート市況は再び上昇しましたが、その後当ファンドが安定運用に移行した2月中旬にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に影響を及ぼすとの懸念から、上値が重い展開となりました。国・地域別では香港やオーストラリア、カナダなどが好調だった一方で、オランダやフランスなどが低調でした。セクター別では、産業施設や特殊用途施設、住宅などが好調だった一方で、商業施設やホテル／リゾートなどが低調でした。

### ■為替相場

当ファンドが組み入れている先進国リーートの対象通貨の為替相場は、全体としては対円で下落しました。

米ドルについては、当ファンド設定時から2015年後半にかけて方向感のない動きとなりましたが、年末から2016年半ばにかけては、中国経済の減速懸念に端を発した中国株式市場の急落などを背景に市場でリスク回避の動きが強まったことなどから、下落しました。2016年11月に入ると、米国大統領選挙でトランプ氏が勝利し、同氏の経済政策への期待感などから市場のリスク選好度が強まり、米ドル円相場は2016年末にかけて上昇しました。その後は比較的狭い範囲での動きとなりましたが、2018年1月に入ると、米国のムニューシン財務長官による米ドル安容認発言や、市場でリスク回避的な動きが強まったことなどを受けて、下落しました。その後2018年半ば過ぎにかけては、米国の堅調な経済指標や株価の上昇などを背景におおむね上昇基調で推移しましたが、年末にかけては、市場でリスク回避的な動きが強まり下落しました。2019年は、米中貿易摩擦に対する懸念が強まったことなどから弱含んで推移しましたが、年の後半から当ファンドが安定運用に移行した2020年2月中旬にかけては、米中通商協議をめぐる進展期待の高まりなどを受けて上昇しました。

米ドル以外の通貨では、市場でリスク回避的な動きが強まったことや、R B A（オーストラリア準備銀行）が金融緩和姿勢を強めたことなどから、2018年以降の豪ドルの下げ幅が大きくなりました。

### ■短期金利市況

日本では、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入するなど、短期金利は低位で推移しました。一方、F R B（米国連邦準備制度理事会）は政策金利の誘導目標を当ファンド設定時より引き上げてきました。しかし2019年に入り、米中貿易摩擦や世界経済の減速で不透明感が強まる中、景気が悪化するリスクを警戒し金融緩和に踏み切り、政策金利の誘導目標を引き下げました。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。リートα・ファンド（固定分配クラス（円ヘッジ））への投資割合を高位に維持します。

### ■リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築します。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション（買う権利）を売却することでカバードコール戦略を構築します。

### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2015.4.7~2020.3.13)

### ■当ファンド

リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））への投資割合を高位に維持しました。

### ■リートα・ファンド（固定分配クラス（ノンヘッジ））

安定的な配当が見込め、下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。

現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをおおむねオーバーウエート、商業施設などをおおむねアンダーウエートとしました。国別で見ると、米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで、日本や英国、オランダなどをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション（買う権利）を売却することでカバードコール戦略を構築しました。

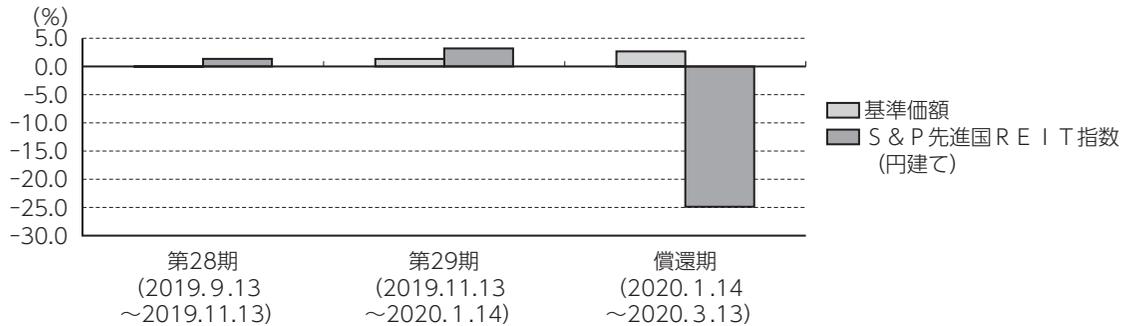
### ■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



## 分配金（払出金）について

1万口当り、第1期～第29期各150円の収益分配を行いました。

また、第28期および第29期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきました。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第28期		第29期	
	2019年9月14日 ～2019年11月13日		2019年11月14日 ～2020年1月14日	
<b>当期分配金（税込み）</b> (円)	<b>150</b>		<b>150</b>	
対基準価額比率 (%)	2.51		2.54	
当期の収益 (円)	150		150	
当期の収益以外 (円)	—		—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,115		1,159	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第28期	第29期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 192.24円	✓ 193.60円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	220.94	220.94
(d) 分配準備積立金	852.72	894.97
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,265.92	1,309.52
(f) 分配金	150.00	150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,115.92	1,159.52

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第28期～償還期 (2019.9.14~2020.3.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	40円	0.671%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,942円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.218)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(26)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.000	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	40	0.671	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

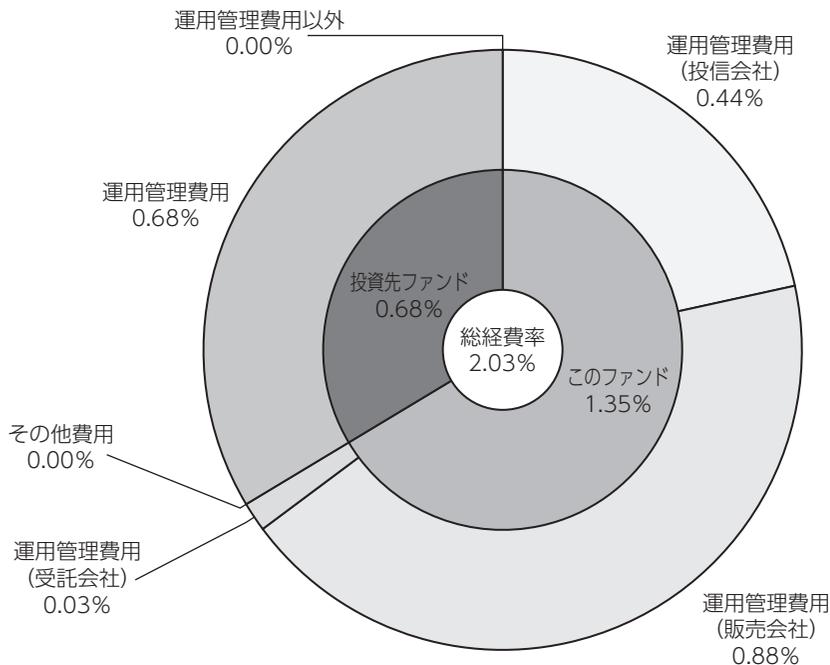
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



総経費率 (①+②+③)	2.03%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.68%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

- (注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。  
 (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。  
 (注3) 各比率は、年率換算した値です。  
 (注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。  
 (注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。  
 (注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。  
 (注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

(1) 投資信託受益証券

(2019年9月14日から2020年3月13日まで)

決算期	第 28 期 ~ 償還期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	48.87951	2,445	730.93554	36,723

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。  
 (注2) 金額は受渡し代金。  
 (注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年9月14日から2020年3月13日まで)

決算期	第 28 期 ~ 償還期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	-	-	49	49

(注) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

(2019年9月14日から2020年3月13日まで)

第 28 期 ~ 償還期				第 28 期 ~ 償還期			
買 付				売 付			
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND FIXED DISTRIBUTION NON HEDGED (ケイマン諸島)	730.93554	36,723	50

(注1) 金額は受渡し代金。  
 (注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首保有額	当作成期中設定額	当作成期中解約額	償還時額	取引の理由
百万円 50	百万円 -	百万円 -	百万円 50	当初設定時における取得

(注1) 金額は元本ベース。  
 (注2) 単位未満切捨。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	第 27 期 末
	□ 数
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	千口 49

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年3月13日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 31,153	% 100.0
投資信託財産総額	31,153	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年11月13日)、(2020年1月14日)、(2020年3月13日)現在

項 目	第 28 期 末	第 29 期 末	償 還 時
(A) 資産	35,751,652円	34,824,607円	31,153,420円
コール・ローン等	1,554,130	1,489,923	31,153,420
投資信託受益証券(評価額)	34,147,642	33,284,809	—
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	49,880	49,875	—
(B) 負債	974,951	961,131	70,161
未払収益分配金	893,776	881,299	—
未払信託報酬	81,171	79,832	69,930
未払利息	—	—	231
その他未払費用	4	—	—
(C) 純資産総額(A - B)	34,776,701	33,863,476	31,083,259
元本	59,585,067	58,753,311	52,522,053
次期繰越損益金	△24,808,366	△24,889,835	—
償還差損益金	—	—	△21,438,794
(D) 受益権総口数	59,585,067口	58,753,311口	52,522,053口
1万口当り基準価額(C/D)	5,836円	5,764円	—
1万口当り償還価額(C/D)	—	—	5,918円13銭

\* 第27期末における元本額は59,763,961円、当作成期間(第28期～償還期)中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は7,241,908円です。

\* 償還時の計算口数当りの純資産額は5,918円13銭です。

\* 償還時の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は21,438,794円です。

■損益の状況

第28期 自2019年9月14日 至2019年11月13日  
 第29期 自2019年11月14日 至2020年1月14日  
 償還期 自2020年1月15日 至2020年3月13日

項 目	第 28 期	第 29 期	償 還 期
(A) 配当等収益	1,226,694円	1,217,316円	△ 1,036円
受取配当金	1,226,723	1,217,352	—
支払利息	△ 29	△ 36	△ 1,036
(B) 有価証券売買損益	△ 1,152,662	△ 683,956	882,240
売買益	215	209	944,872
売買損	△ 1,152,877	△ 684,165	△ 62,632
(C) 信託報酬等	△ 81,175	△ 79,834	△ 69,930
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 7,143	453,526	811,274
(E) 前期繰越損益金	△19,749,914	△20,362,565	△18,585,356
(F) 追加信託差損益金	△ 4,157,533	△ 4,099,497	△ 3,664,712
(配当等相当額)	( 1,316,499)	( 1,298,122)	( 1,160,447)
(売買損益相当額)	(△ 5,474,032)	(△ 5,397,619)	(△ 4,825,159)
(G) 合計(D + E + F)	△23,914,590	△24,008,536	△21,438,794
(H) 収益分配金	△ 893,776	△ 881,299	—
次期繰越損益金(G + H)	△24,808,366	△24,889,835	—
追加信託差損益金	△ 4,157,533	△ 4,099,497	—
(配当等相当額)	( 1,316,499)	( 1,298,122)	( —)
(売買損益相当額)	(△ 5,474,032)	(△ 5,397,619)	( —)
分配準備積立金	5,332,731	5,514,474	—
繰越損益金	△25,983,564	△26,304,812	—
償還差損益金(G)	—	—	△21,438,794

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 28 期	第 29 期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,145,519円	1,137,482円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	1,316,499	1,298,122
(d) 分配準備積立金	5,080,988	5,258,291
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	7,543,006	7,693,895
(f) 分配金	893,776	881,299
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	6,649,230	6,812,596
(h) 受益権総口数	59,585,067口	58,753,311口

**投資信託財産運用総括表**

信託期間	投資信託契約締結日	2015年 4月7日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2020年 3月13日		資産総額	31,153,420円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	70,161円
				純資産総額	31,083,259円
受益権口数	50,000,000口	52,522,053口	2,522,053口	受益権口数	52,522,053口
元本額	50,000,000円	52,522,053円	2,522,053円	1単位当り償還金	5,918円13銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	56,563,190	53,697,750	9,493	150	1.50
第2期	56,813,765	53,231,541	9,369	150	1.50
第3期	56,551,754	49,219,394	8,703	150	1.50
第4期	56,557,167	51,061,892	9,028	150	1.50
第5期	56,557,167	48,495,125	8,575	150	1.50
第6期	62,677,776	53,593,884	8,551	150	1.50
第7期	62,677,776	52,162,969	8,322	150	1.50
第8期	62,677,776	50,586,698	8,071	150	1.50
第9期	62,677,776	47,592,252	7,593	150	1.50
第10期	62,677,776	44,815,330	7,150	150	1.50
第11期	62,677,776	49,174,678	7,846	150	1.50
第12期	62,677,776	48,422,619	7,726	150	1.50
第13期	62,677,776	47,977,395	7,655	150	1.50
第14期	73,977,260	55,702,298	7,530	150	1.50
第15期	74,009,591	55,240,665	7,464	150	1.50
第16期	72,252,646	54,541,374	7,549	150	1.50

<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1 単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第17期	73,580,844	52,876,030	7,186	150	1.50
第18期	70,655,866	46,557,561	6,589	150	1.50
第19期	71,413,557	48,200,599	6,750	150	1.50
第20期	71,408,144	48,724,206	6,823	150	1.50
第21期	65,215,254	43,109,810	6,610	150	1.50
第22期	64,668,241	42,243,995	6,532	150	1.50
第23期	64,790,078	39,588,187	6,110	150	1.50
第24期	64,790,078	40,967,973	6,323	150	1.50
第25期	59,101,249	36,345,153	6,150	150	1.50
第26期	59,191,851	35,993,532	6,081	150	1.50
第27期	59,763,961	35,784,738	5,988	150	1.50
第28期	59,585,067	34,776,701	5,836	150	1.50
第29期	58,753,311	33,863,476	5,764	150	1.50

(注) 1 単位は受益権 1 万口。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 28 期	第 29 期
1 万 口 当 り 分 配 金	150円	150円

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

償 還 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 償 還 金	5,918円13銭

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド  
 固定分配クラス（円ヘッジ）／固定分配クラス（ノンヘッジ）

当ファンド（<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 固定分配クラス（円ヘッジ）／固定分配クラス（ノンヘッジ）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2020年3月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2019年2月28日

	(円)
<b>資産</b>	
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 18,248,608,982円）	10,485,042,165
デリバティブ金融商品の評価額	52,057,878
未収利息	1,806,042
約定未収金	-
<b>資産合計</b>	<b>10,538,906,085</b>
<b>負債</b>	
デリバティブ金融商品の評価額	52,726,131
未払報酬代行会社報酬	1,806,042
未払償還金	-
<b>負債合計</b>	<b>54,532,173</b>
<b>償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産</b>	<b>10,484,373,912</b>
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	2,622,846,528
円ヘッジクラス受益証券	4,536,630,444
通貨セレクトクラス受益証券	3,248,761,961
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	41,038,550
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	35,096,429
発行済受益証券口数：	
ノンヘッジクラス受益証券	37,978,559
円ヘッジクラス受益証券	94,519,945
通貨セレクトクラス受益証券	99,403,264
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	742,575
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	617,846
受益証券一口当り純資産額：	
ノンヘッジクラス受益証券	69.061
円ヘッジクラス受益証券	47.997
通貨セレクトクラス受益証券	32.683
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	55.265
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	56.804

包括利益計算書

2019年2月28日に終了した年度

(円)

収益	
損益を通じて公正価値で測定される金融商品による純損益	
手数料収入	2,149,239,335
担保付スワップ投資による純損失	(882,830,010)
デリバティブ純利益	2,399,736
	<u>1,268,809,061</u>
<b>収益合計</b>	<b><u>1,268,809,061</u></b>
営業費用	65,280,245
<b>営業費用合計</b>	<b><u>65,280,245</u></b>
金融費用控除前営業利益	1,203,528,816
償還可能受益証券の保有者への分配金	(2,083,959,090)
分配金支払後の償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	<u><u>(880,430,274)</u></u>

デリバティブ金融商品 (為替先渡契約)

決済日	契約数	受取 (評価益) (円)	支払 (評価損) (円)	(純) 評価額 (円)
2019年3月19日	6	43,474,096	(13,367,863)	30,106,233
2019年3月20日	26	8,583,782	(39,358,268)	(30,774,486)
(純) 評価額		<u>52,057,878</u>	<u>(52,726,131)</u>	<u>(668,253)</u>

# ダイワ・マネースtock・マザーファンド

## 運用報告書 第10期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

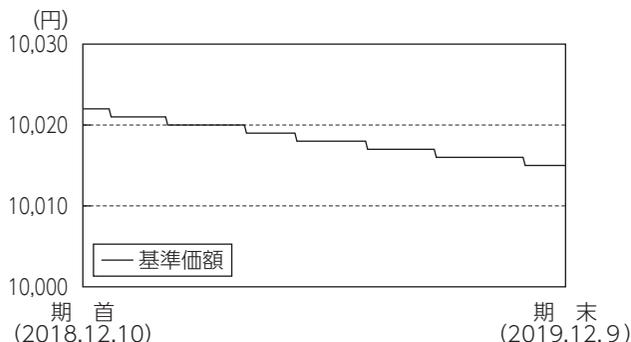
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,022	-	-
12月末	10,022	0.0	-
2019年 1 月末	10,021	△0.0	-
2 月末	10,020	△0.0	-
3 月末	10,020	△0.0	-
4 月末	10,019	△0.0	-
5 月末	10,018	△0.0	-
6 月末	10,018	△0.0	-
7 月末	10,017	△0.0	-
8 月末	10,017	△0.0	-
9 月末	10,016	△0.1	-
10 月末	10,016	△0.1	-
11 月末	10,015	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,015	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。  
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	250,003	(250,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。  
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801	国庫短期証券 2019/3/18 250,003		

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。  
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	103,888,808	100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>103,888,808,252円</b>
コール・ローン等	103,888,808,252
<b>(B) 負債</b>	<b>200,442,764</b>
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>103,688,365,488</b>
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>103,532,314,258口</b>
1口当たり基準価額(C / D)	10,015円

\* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解約元本額は136,021,893,199円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック - 947,268円、ダイワ/ミレニアム・インド株式ファンド - インドの匠 - 29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信-T O P I Xレバレッジ (2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信-T O P I Xダブルインパース (-2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信-T O P I Xインパース (-1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L T

リード-186,241,301円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の橋音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド (適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアム・細細並株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアム・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。